

管理運営状況等の評価シート(令和5年度分)

施設所管課 生涯学習課

1 指定管理者施設概要

施設名	名称	上三川町立図書館		
	所在地	上三川町大字上三川5040		
指定管理者	名称	株式会社 図書館流通センター		
	代表者名	代表取締役 谷一 文子		
	住所	東京都文京区大塚三丁目1番1号		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5年間

2 利用実績等

(1) 利用実績

① 利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	4,374	4,338	4,559	5,139	6,506	4,758	3,248	4,295	3,921	4,143	4,396	4,784	54,461
令和4年度(B)	4,649	4,840	4,808	5,188	6,191	4,815	4,743	5,177	4,058	4,278	4,266	4,454	57,467
(A)／(B)	0.94	0.90	0.95	0.99	1.05	0.99	0.68	0.83	0.97	0.97	1.03	1.07	0.95
増減要因等	R5年度は図書館システム更新作業のため、10月に10日間連続で休館をしており、減少の要因の一つと考えております。またR4年度は宇都宮市立南図書館が工事のため休館しており、当館を利用する方が多くなったため、R4年度よりR5年度は減少したと思われます。												

② 利用件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	11,099	9,817	10,225	11,447	14,610	10,570	7,822	9,649	9,842	10,480	11,023	12,020	128,604
令和4年度(B)	9,845	9,951	9,447	12,545	14,406	11,459	11,907	11,077	10,829	10,738	11,382	11,460	135,046
(A)／(B)	1.13	0.99	1.08	0.91	1.01	0.92	0.66	0.87	0.91	0.98	0.97	1.05	0.95
増減要因等	利用者数と同様の要因で減少したと考えられます。しかし、夏休みの8月等学校の長期休暇の月は前年度超えとなり、町内の子どもたちの利用は増加傾向だと思われます。												

③ 開館日数

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	26	26	26	28	30	27	19	26	24	25	26	27	310
令和4年度(B)	26	26	26	29	29	27	24	26	24	25	24	27	313
(A)／(B)	1.00	1.00	1.00	0.97	1.03	1.00	0.79	1.00	1.00	1.00	1.08	1.00	0.99
増減要因等	図書館システム更新作業のため、通常の開館日数より減少しました。												

(2) 利用料金収入

(単位:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	170	140	80	220	140	270	110	100	240	250	220	320	2,260
令和4年度(B)	150	110	180	370	260	180	140	270	200	370	180	400	2,810
(A)／(B)	1.13	1.27	0.44	0.59	0.54	1.50	0.79	0.37	1.20	0.68	1.22	0.80	0.80
増減要因等	図書館資料の複写サービスの売上ですが、近年、デジタル化も進み、紙ベースの資料をコピーされる方も減少しております。												

(3) サービス改善の状況

コロナ5類移行もあり、新規イベントも含め、様々な図書館事業を展開しました。一例として、3月に、DXを活用した上三川町デジタルアーカイブでORIGAMIミュージアムを公開しました。吉澤章氏の6作品、そのうち2作品を3D、4作品を2D画像で公開しました。図書館サービスとして新たに進んでいる非来館サービスにも繋がると考え進めました。

3 管理運営状況

(※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設の目的に沿った管理運営	施設効用の最大限発揮	A	南館が学童保育になったことをきっかけに、古い備品を処分し整理しました。コミュニケーションとして図書館イベントを実施した際、参加者より、アンケートは負担という声があり、スタッフ自ら、感想を伺うなどし、コミュニケーションを深め、ご要望を調査しました。案内指導として図書館の代表的なレファレンスサービスの件数は、利用者数減少にもかかわらず、104%と増加しました。	A	利用者への親切・丁寧な対応ができており、施設の目的に沿った管理運営ができています。
	施設設備・備品の適切な管理・操作	A		A	
	利用者とのコミュニケーション	A		A	
	利用者への案内・指導	S		S	
	施設利用向上対策の実施	S		S	
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	上三川町立図書館運営規則に則り、平等な利用確保に努めました。	A	利用の許可や減免について、速やかな連絡が町に入るため、平等な利用の確保が図られている。
	適切な利用減免	A		A	
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	DXを活用したサービスとして、デジタルアーカイブのコンテンツを増やしました。また、利用者カードをスマホなどで表示できるシステムを取り入れました。利用頻度が減った1階視聴覚ブースを、パソコンなど使用できる、コンセントがある学習コーナーとしてリニューアルしました。ほぼ毎日ご利用いただいています。図書館アンケートは、入り口設置だけではなく、年3回、カウンターでも配布しご回答をいただきました。	S	DXを意識した取り組みをいち早く取り入れており、サービスの向上に繋がっている。また、学習室のリニューアルをしたことで利用者のニーズに対応した取組がなされている。
	利用者とのコミュニケーション	S		S	
	ホームページの作成、更新	A		A	
	利用申込受付の工夫	A		A	
	利用者満足度調査の実施	A		A	
自主事業の実施	事業計画書において計画した事業の実施	A	事業は、計画通り実施しました。今年度も新規事業を展開し、イベント会場にはイベント関連資料を展示し、閲覧、貸出を促し、生涯学習支援、読書推進に繋がりました。企画展示の貸出率も良い結果となりました。	A	計画通りの事業展開ができています。企画展示も創意工夫することで利用者の好評が得られています。デジタルアーカイブの整備についても評価できる。
	自主事業実施の効果	S		S	
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	個人情報保護法などは定期的に研修を受け関係法令等の遵守に努めました。従事者の司書資格保有率は83%と高く、ほとんどのスタッフが全ての業務に従事できる状態を保持しています。危機管理、安全対策として、感染対策アドバイザー1名、防火管理者2名、安全衛生推進者2名の体制とし、シフト勤務で1名の有資格者が休みでも対応できる体制を整えています。職員研修ではAED、防犯講習、専門分野の研修は年間通して全スタッフが複数の研修を受講しました。	A	職員の研修が充実していることで、職員のスキルアップにつながっている。施設規模に応じた人員配置がなされていることで、利用者へのサービスが維持できており、サービスの向上も図られている。事業報告書についても簡潔に整理・記載されている。
	仕様書に規定された職員の配置	S		S	
	利用料金の徴収	A		A	
	危機管理体制の構築	S		A	
	安全対策の実施	A		A	
	事業報告書等の提出	A		A	
	職員の研修	S		S	
収支状況	収入及び支出額	A	課題だった電気料金は、生涯学習課ご担当者様と検討し比較利用が少ない平日の学習室閉鎖により予算内に収めることができました。	A	企業努力により縮減できる費目は縮減できており黒字化できている。
	管理経費の縮減策実施	A		S	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
総合評価	〔努力した点・具体的な成果〕 ORIGAMIプラザのオープン時期を見込み、吉澤章氏の作品を、3D画像含め、デジタルアーカイブのコンテンツで公開しました。3D画像の折り紙作品は例がなく撮影に苦労した点もありましたが、生涯学習課の多大なご協力もあり素晴らしいコンテンツになりました。前年度の改善点であった、町内施設との連携ですが、コロナ5類移行に伴い、図書館スタッフがとりまとめ、上三川高校といきいきプラザと連携し、子ども向けに「工作キット配布」「高校生の工作会」を実施しました。自主事業では、新規事業(6事業)含め多くのイベントを展開し皆様にご参加いただきました。同じく企画展示も昨年度同様、高い貸出率となり皆様にご利用いただきました。		〔評価すべき点〕 常に来館者に対し、親切・丁寧な対応を心掛け、かつ、利用者の意見を取り入れて検討し、対応できるものは実行できている。このような努力から指定管理者に起因する苦情が寄せられることがほぼないため、その点について高く評価できる。	
	〔改善すべき点〕 自主事業のイベントにて、参加者のお声を直接伺う中で、「少人数だったから充実していた」といったご感想を数回いただきました。コロナ禍など経験し、価値観にも変化があったと感じました。イベントも多くの方の参加を望むばかりではなく、小規模でも参加した方が充実した時間だったと感じていただけるような事業を実施することや、社会貢献、生涯学習など分野を明確にして企画し、様々な分野に興味関心を抱き、図書館資料で更に知的欲求を満たせるよう自主事業を展開していくことが必要だと考えています。		〔改善指導すべき点〕 自主事業に関しては時代に応じた事業を展開していくことが今後の図書館の発展にも繋がると考えられるので、常に町と連携・協力を図りながらの取り組んでいただけたらと考える。施設の老朽化が顕著な部分があるので、利用者へ不便をかける前に担当課へ相談いただくよう連絡を密にしていきたい。	